

# 座間が総合優勝

## 全4種目で1位

東日本ローラーズスピード選手権で大きな成果を挙げた。座間天平(文2・船橋芝山高)が3000円、5000円、5000円、1万円の4種目すべてに出場し、全競技で1位。総合優勝を達成した。

座間天平(文2・船橋芝山高)が3000円、5000円、5000円、1万円の4種目すべてに出場し、全競技で1位。総合優勝を達成した。各種目のタイムは次の通り。▽3000円 27秒194▽5000円 45秒244▽5000円 45秒27秒746▽1万円 17分59秒275



表彰式で喜びの表情を浮かべる座間(中央)

しい。その半面、海外の選手と比べて大きな差を感じた。日本代表に選ばれたことは素直にうれしかった。レースで勝つのはもちろんだが、

日本が世界と戦えるように国内のレベルを底上げしていきたい」と頼もしく語った。

## 中西が2位

関東学生アーチェリー新人個人選手権 11月3、4日、横浜市・富岡総合公園アーチェリー場

専大から女子で唯一の出場となった中西菜津子(文1・大宮開成高)。50円で307点、30円で339点の合計646点を記録し、2位で大会を終えた。



次世代のエース中西

2018年は7月に世界選手権が控えている。「大学生として、インストラクターができる時間にも限られている」と一日を無駄にしないよう、練習に励む日々を送っている。

には満足していない」と悔しげに語り、「アーチエリーはリズムが大切な大会ではそこが崩れてしまった」と反省点を分析した。

## 薄氷の1部残留

関東大学サッカーリーグ戦 11月19日まで、日大稲城総合グラウンドほか



サポーターに残留を報告

6勝13敗3分で日体大と並ぶも、得失点差で上回りの10位で1部残留

を果した。第15節からまさかの7連敗で最下位に沈んだ専大。残留のためには勝利が絶対条件となった18日の最終戦(東洋大戦)は、前半15分に岸晃司(経営2・川崎北高)の挙げた先制ゴールを守り切り1-0で勝利。先に試合を終え、日体大の試合結果を待った。2部降格を覚悟していた専大イレブンだったが、日体大が引き分けに終わり、残留が決まったことが分かる。残留の表情を浮かべ、スタンドとともに残留を喜んだ。(藤森峻祐・文2 写真)

## 順位決定Iで7位

全日本大学バスケットボール選手権 (女子) 11月28日、宮城県 け攻撃の精度を高める練習に取り組んで迎えた今大会。田口明佳莉主将



司令塔としてチームに指示を送る田口主将 天理大戦

中心にまとまった専大はベスト8入りを果たした。5~8位の順位決定トーナメントの結果、7位となった。

「一戦必勝」のスローガンを掲げ、初戦の天理大戦に臨んだ専大は、スピード感あふれるオフエンスで前半から順位に立つ。後半も得点を重ね、85-66で1回戦を突破した。2回戦は、関東大学リーグで1勝1敗だった松蔭大と対戦。攻守とも

に強気の姿勢を見せた千葉歩(経済3・東京学館新潟高)の活躍もあり、最後まで攻め続け、72-42で快勝した。

関東学生バドミントン新人選手権 10月30日、11月25日、埼玉県・所沢市民体育館ほか

場する今大会では、高校以来、久しぶりにペアを勝ち進み、準決勝をストレートで制すと決勝に駒を進めた。谷澤が「試合をしていくにつれてコンビネーションが良くなっていった」と振り返ったように、決勝はフルゲームに持ち込んでも優勝を飾った。

石原は「悔しさもあるが、どの試合も楽しかったし、決勝まで進めたことはい経験になった」と収穫を語り、「来年は1部のトップ選手に勝てるように、体面や技術面を強化していきたい」と前を見据えた。

Bブロックの男子はシングルルスで板東拓哉(商1・淑徳巣鴨高)が優勝、ダブルスで板東・渡邊一平(法1・青森山田高)ペアが優勝し、団体でも優勝を飾った。(福井彩乃・文3)

## 女子複 谷澤・石原ペアが準V



入賞した部員たち

谷澤と石原は普段は互いに違うペアを組んでいるが、1、2年次生が出

入賞した部員たち

## ヨット部創部50周年を祝う

ヨット部の創部50周年を祝う記念式典が11月18日、生田キャンパス蒼翼の間で開かれた。現役部員やOB・OG、大学関係者ら約80人がこれまでの活躍を振り返り、節目を祝った。

式典ではまず、昨年亡くなった柄澤康善前監督ら物故者に黙とうをささげた。現監督でOB会長の川口暢一さん(昭51経済)が「50年間、海という自然と向き合い、努力のプロセスを積み上げてきた」とあいさつ。石崎徹体育部長、福原康司部長(経営学部准教授)らが祝辞を述べた。

代表選手選考競技会 12月27~30日(長野県・長野市オリンピック記念アリーナ) 日本学生水上競技選手権 12月25~29日(青森県八戸市) 全日本学生選手権 12月20~23日(北海道音威子府村) 全日本選手権 12月20~23日(世田谷区・駒沢体育館) アイスホッケー部 日本学生水上競技選手権 12月25~29日(青森県八戸市) スピードスケート部 全日本選手権 12月20~23日(北海道音威子府村) レスリング部 全日本選手権 12月20~23日(世田谷区・駒沢体育館) アイスホッケー部 日本学生水上競技選手権 12月25~29日(青森県八戸市) スピードスケート部 全日本選手権 12月20~23日(北海道音威子府村) レスリング部 全日本選手権 12月20~23日(世田谷区・駒沢体育館) アイスホッケー部



現役部員、卒業生が肩を組み、校歌を斉唱

現役部員、卒業生が肩を組み、校歌を斉唱 結と協力を呼びかけた。

1月15~21日(渋谷区・東京体育館)



## 記録コーナー

留が決まったことが分かる。残留の表情を浮かべ、スタンドとともに残留を喜んだ。(藤森峻祐・文2 写真)

留が決まったことが分かる。残留の表情を浮かべ、スタンドとともに残留を喜んだ。(藤森峻祐・文2 写真)